

2008年9月19日

アニメ「よみがえる空-RESCUE WINGS-」を原作にした

実写映画「空へ-救いの翼 RESCUE WINGS-」2008年12月公開予定

バンダイビジュアル原作アニメが初の実写映画化！

9月20日は「空の日」・9月20日～30日は「空の旬間」各種イベント開催！

バンダイビジュアル株式会社

住所：東京都港区東新橋 1-9-2 汐留住友ビル16F

社長：川城和実、資本金：21億8250万円

バンダイナムコグループのバンダイビジュアル株式会社が著作権を持つアニメ「よみがえる空-RESCUE WINGS-」とコミック版「レスキューウィングス」を原作とした映画「空へ-救いの翼 RESCUE WINGS-」が、**2008年12月**に公開されることが決定しました。バンダイビジュアル原作作品の実写映画化は、本作が初めてとなります。

■映画原作となった「よみがえる空-RESCUE WINGS-」とは

「よみがえる空-RESCUE WINGS-」は、命懸けで人命救助に挑む実在の救難組織“航空自衛隊航空救難団”をモデルにした本格レスキュードラマアニメーションで、2006年1月から3月までテレビ東京他にて放送されました。

当社のプロデューサーの企画からスタートした本作は、バンダイビジュアルが著作権を持ち、企画決定から2年の歳月を経て制作されました。航空自衛隊全面強力のもと、救難隊の基地での日常のみならず、救難訓練への同乗取材や隊員たちへの詳細なインタビュー取材をベースに、“救難活動最後の砦”として過酷な条件の中で救難活動を行う若者たちの姿を、リアルにシリアスに描いています。

<ストーリー>

新人ヘリパイロットの三等空尉・内田一宏が本当になりたかったのは、成層圏を音速で飛び花形のファイターパイロット。しかし現実には厳しく、パイロット養成の段階で救難ヘリのコースに振り分けられてしまう。そして現在、彼の職場はレスキュー部隊・小松救難隊。人命救助のみを任務とする、縁の下の力持ち的存在の部隊である。本来の希望とは違う職場にくさっていた主人公だったが、震災、航空事故、山岳遭難など、様々なミッションに関わっていくなかで、レスキューにやりがいを見出していく……。挫折を繰り返しながらも自らと向き合っていく青年の成長物語。



(c) バンダイビジュアル

「よみがえる空-RESCUE WINGS-」プロデューサー・杉山潔（(株)エモーション）のメッセージ

航空自衛隊の救難隊は、他の組織に比べて機材や人員の能力が非常に高いため、他の組織では対処できないときに要請がかかる“最後の砦”の様な部隊です。航空自衛隊という戦闘集団の中において、人を生かすためだけに働いている人たちがいて、そして彼らが災害派遣で出動して2000人以上の民間人を救っているという事実があります。しかもその多くは、警察や消防、海上保安庁といった他の救難組織が手を出せないような危険な状況下で出動しています。どうしてそんな危険な職種を選んだのかと聞くと、「自衛隊の中で、人を救う手応えがある仕事は救難だけ」「助けた人からお礼の手紙が来るのが嬉しいから。それだけで十分」というピュアな人たちなんです。そういう考え方などに触れていくうちに、すっかり救難隊に惚れてしまい、「こういう仕事をしている人たちがいるということを知って欲しい」と考えたのがこの企画のきっかけです。

この度、この「よみがえる空」が原作となり実写映画が製作されることになりました。この映画をきっかけとしてさらに多くの方々に航空自衛隊救難隊の存在を知っていただければ望外の喜びです。

■映画「空へー救いの翼 RESCUE WINGSー」について

「空へー救いの翼 RESCUE WINGSー」は、アニメーション「よみがえる空-RESCUE WINGSー」とコミックス「レスキューウィングス」（トミイ大塚著・メディアファクトリー刊）を原作にした実写映画です。防衛省、航空自衛隊、海上自衛隊の全面協力を得て、近い将来に誕生するであろう女性救難ヘリコプター操縦士の命がけの献身的な活躍を、仲間たちの友情や上官との信頼関係などを織り交ぜながらダイナミックに描きます。監督は、リアルで精密な描写に定評のある手塚昌明（「ゴジラ×メカゴジラ」、「戦国自衛隊 1549」）が務めます。また、主演には、殉職した救難隊員を父に持つ、高山侑子を迎え、三浦友和、木村佳乃、渡辺大ら豪華共演者が脇を固めます。2008年12月に角川シネマ新宿ほか全国で公開予定です。



(c)「空へー救いの翼 RESCUE WINGSー」製作委員会

<ストーリー>

主人公・川島遥風（はるか）は離島に育ち、その幼い日に母親を救ってくれた航空救難団に憧れ、航空自衛隊初の救難ヘリの女性パイロットになる。女性自衛官を否定する救難員、戦闘機からヘリに転換したパイロット、要救助者を救助できなかった任務、さまざまな隊員、さまざまな思いを抱えながらも、救難に命をかける部隊で成長する遥風の熱いドラマ。

■9月20日は「空の日」、9月20日～30日は「空の旬間」

1940年に制定された「航空の日」を、広く国民に親しまれるように、1992年に運輸省（現在の国土交通省）航空局が「空の日」（9月20日）へ改称するとともに「空の旬間」（9月20日～9月30日）が設けられました。毎年、全国の空港等のうち1ヶ所をスカイフェスタ会場として大規模なイベントを行なうほか、各地で様々なイベントが開催されます。「空へー救いの翼 RESCUE WINGSー」は、9月21日に開催される小松基地航空祭で、ブースを出展し、渡辺大をゲストに、一日基地指令、ブルーインパルスパイロットへの花束贈呈などを行ないます。それ以降も、10月4日小牧基地航空祭をはじめ多数の航空イベントに参加予定です。

<「空へー救いの翼 RESCUE WINGSー」のイベント参加スケジュール>（予定）

日付	航空祭	ゲスト
9月21日	小松基地航空祭	渡辺大
10月4日	小牧基地航空祭	—
10月5日	浜松基地航空祭	井坂俊哉
11月2日	オートボルテージ（in ツインリンクもてぎ）	手塚昌明監督・高山侑子
11月3日	入間基地航空祭	高山侑子・渡辺大・井坂俊哉
11月23日	築城基地航空祭	高山侑子
11月30日	岐阜基地航空祭	—

バンダイビジュアルホームページ：<http://www.bandaivisual.co.jp>

「よみがえる空-RESCUE WINGSー」公式サイト：<http://www.rescue-w.jp/>

「空へー救いの翼 RESCUE WINGSー」公式サイト：<http://www.sorae-movie.jp/>

<報道関係からのお問い合わせ>

【アニメーション「よみがえる空-RESCUE WINGSー」に関してのお問い合わせ先】

バンダイビジュアル(株) 経営管理部 経営企画課 企業広報担当 城塚（しろつか）または山崎まで

TEL 03-6252-3377 FAX 03-6252-3378

【映画「空へー救いの翼 RESCUE WINGSー」に関するお問い合わせ先】

(株)リベロ

TEL 03-6230-2281 FAX 03-6230-2282